

タイミング指導における年齢、クラミジア感染、子宮内膜症と妊娠率の相関 当院2年間

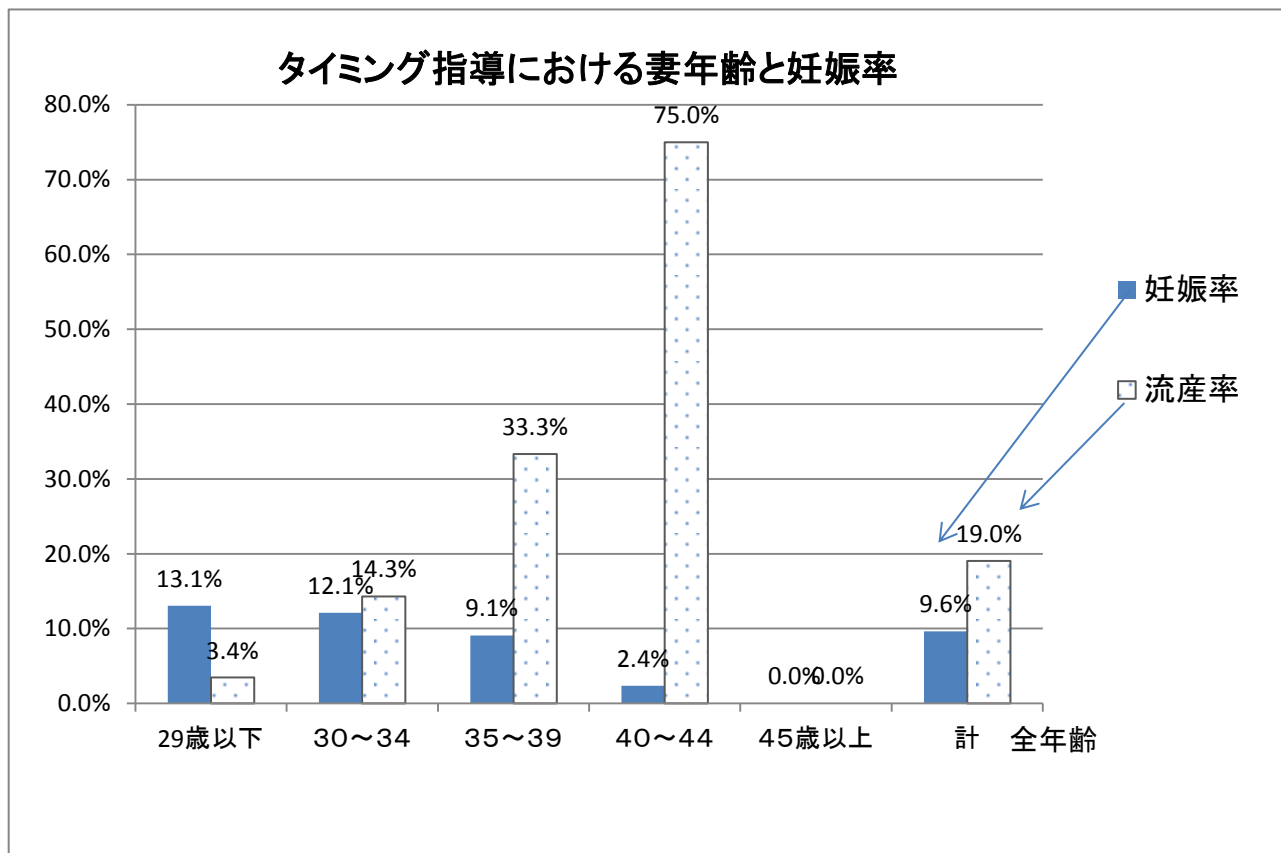
一般的に、避妊しないで適当に夫婦生活があれば、1周期に20%のカップルが妊娠すると言われ、妻な20歳代なら、1年で98%が妊娠すると言われてています。

当院のタイミング指導の結果から、不妊原因（妻年齢・クラミジア感染・子宮内膜症）と妊娠率との関係をグラフにしてみました。

下のグラフは、タイミング指導における妻年齢と妊娠率の関係です。

妊娠率は、妻年齢の上昇とともに下がり、20歳代では13.1%ですが、40歳以上では2.4%になっています。

流産率は、年齢の上昇とともに上がっています。

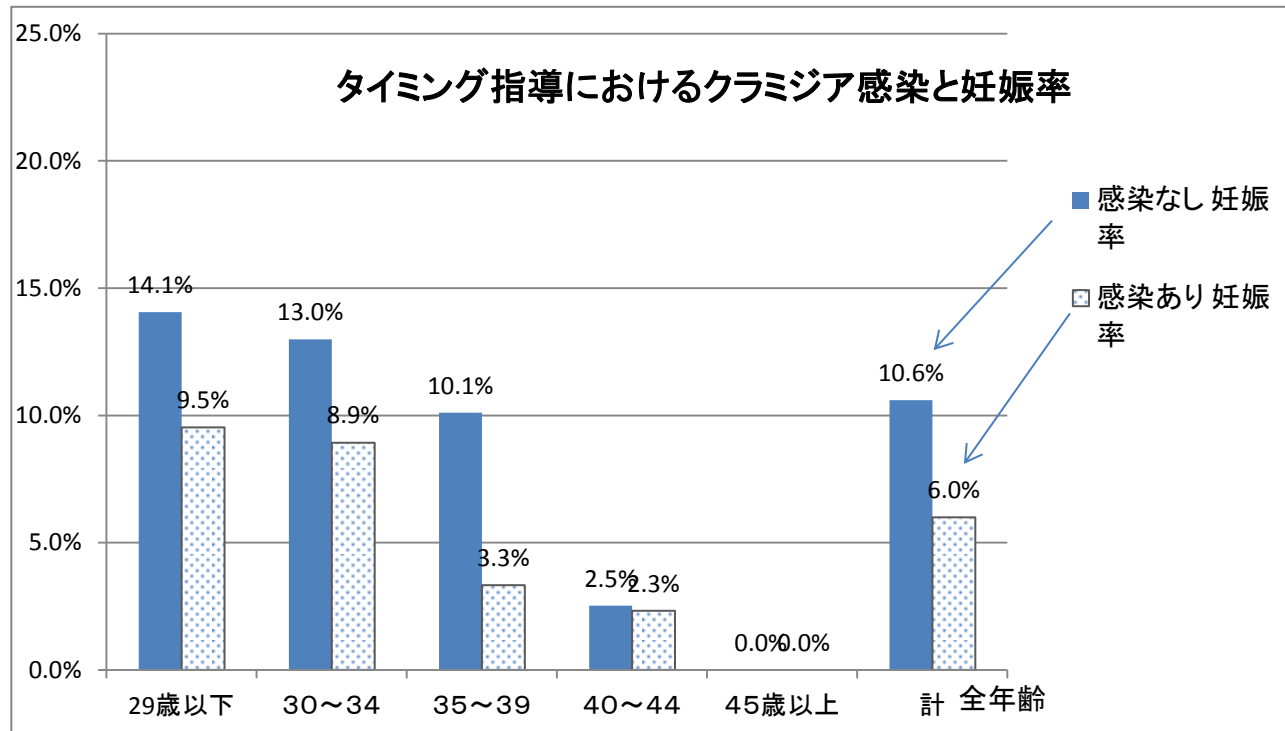


過去にクラミジアに感染したことがある方は、感染のなかった方に比べると

全年齢で妊娠率は低下します。

クラミジア感染の可能性があるかは、血液検査（クラミジア抗体）で判断しますが

過去の感染が、全て判明するわけではありません。



子宮内膜症のある方は、ない方と比べると全年齢で妊娠率は低いです。

